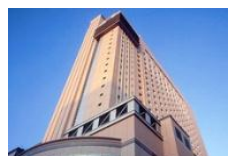


外国からの旅行者は、旅先でもジョギング、テニス、筋トレなどを普通に求める。我が国でも生涯スポーツを提唱する以上、旅先で日課のスポーツや、その自然環境を生かしたスポーツができる条件整備が宿泊先を中心に観光地全体に求められる!

- 理念: ①どこでもスポーツに勤しめる生涯スポーツ環境の整備
②ロングステイに対応できる観光地の形成
③既存スポーツ施設・公園・道の有効活用、地域活性化



ホテル・旅館



宿泊客



1)チェックインの際や部屋置き資料での情報提供

- 周辺スポーツイベント、近隣スポーツ施設の情報(提携割引○クーポン)ランニング・サイクリング・ウォーキングの各マップ

2)フロントやコンシェルジュによるサービス

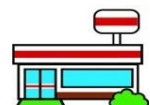
- レンタルシューズ・ウェア・自転車の貸出
- 着地型スポーツアクティビティ商品の販売
- 旅行者ニーズに応じたコーチ・トレーナー・ガイドの派遣取り次ぎ 等



案内所



図書館



コンビニ



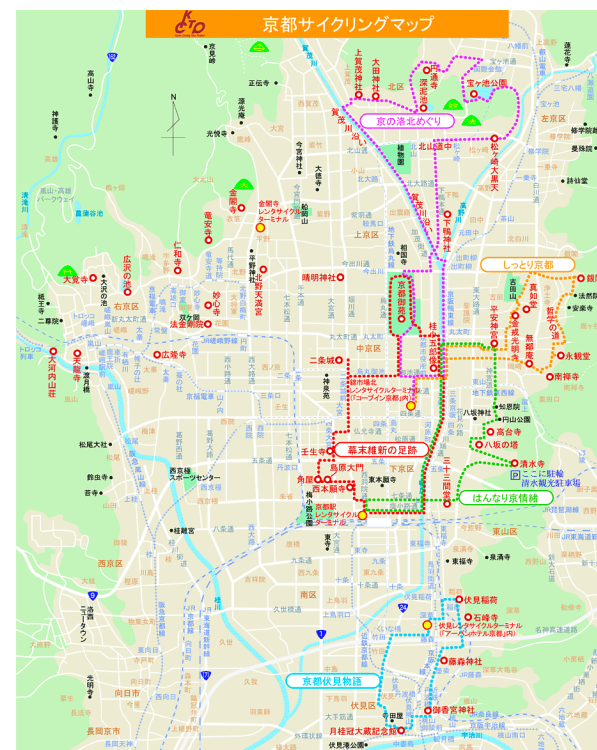
旅行者

スポーツアクティビティの情報・サービスを提供

※図書館にも案内所機能を付加。コンビニではスポーツ観戦・参加チケットの販売と連動も

サイクリングツーリズムの推進(平成23年度)

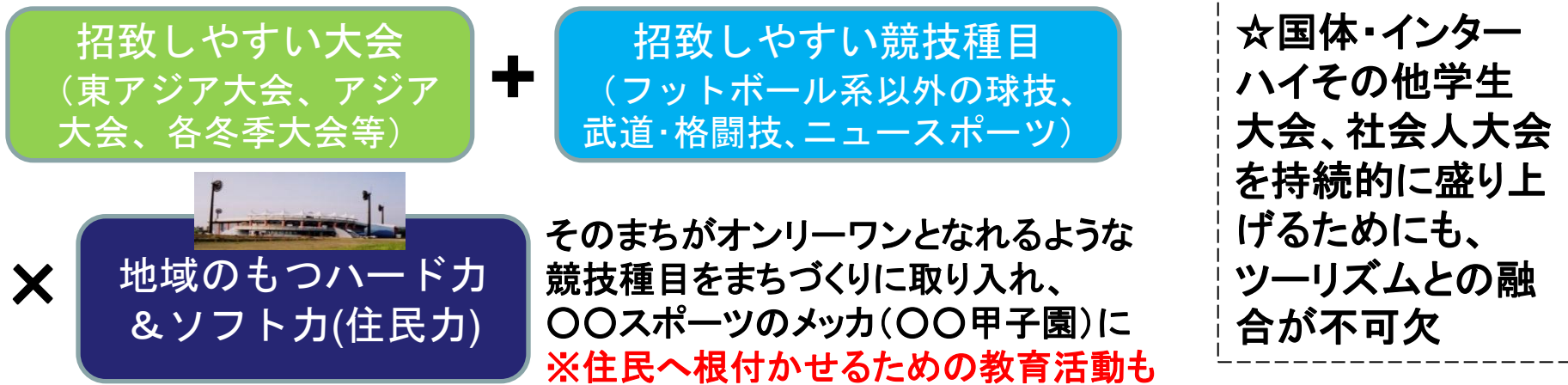
- (財)日本サイクリング協会「平成23年度自転車乗用に関する調査研究事業」(競輪補助事業)において、昨年度に引き続き「観光資源の魅力化におけるサイクリング活用」がテーマに。
- 本年度は「サイクリングマップ」に焦点を当てて、観光客目線に立った調査研究を実施するということで観光庁として全面協力(調査研究委員会へのスポーツ観光推進室長の参画、各運輸局を通じたサイクリングマップの大々的収集)
- 現在、180のサイクリングマップとその発行者からのアンケートをWG(スポーツ観光推進室長もメンバー)において詳細に分析中。
- 本年度中に報告書を取りまとめ、使い勝手が良く、観光振興にも資するサイクリングマップ作成のポイント、サイクリングロード・レンタサイクルイベントの望ましいあり方が示される予定。



まちに大会を誘致しよう！山に合宿を誘致しよう！

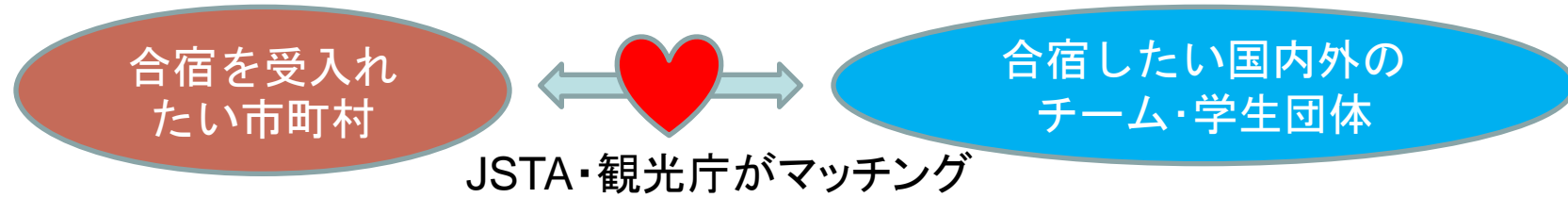
国際大会は招致合戦となるオリンピックなどメガイベントだけではない。日本では人気の競技だが招致を争わなくていいもの、逆に日本では人気は薄い世界からは人が呼べるもの、40億近い人口を有するアジア限定もの、合宿、素人大会に要着目！

◎すべての自治体における国際競技大会招致・開催へのチャレンジ



◎すべての自治体における合宿誘致へのチャレンジ

- 先進自治体事例の把握と観光庁webサイトでの発信
- 文科省事業「国際スポーツキャンプの招致・開催支援」の活用・連携協力
- 合宿ニーズマッチングシステムの構築



スポーツ施設整備や道路整備、大会誘致・運営は、スポーツ団体・行政だけでなく、観光団体、旅行会社、メディア、商工業団体など幅広い関係者を巻き込み、まちづくりにしっかり位置づけて総合的に取り組もう！ 成功事例を堂々と真似よう！

◎情報発信によるまちづくりの後押し

観光庁による、

- ・スポーツを取り入れたまちづくり計画の策定事例
 - ・スポーツコミッションなど連携組織の設立事例
 - ・観光資源としてのスポーツ大会・合宿活用事例
- などの「観光庁webサイト」や各種媒体による発信



◎相談・コンサル体制の構築

観光庁と全国10の地方運輸局に「スポーツツーリズム相談窓口」開設
スポーツコミッションなど連携組織、役所内の連携体制づくりも支援

◎対外窓口となるオールジャパンの連携組織づくり

- ・「日本スポーツツーリズム推進連携組織」(JSTA:ジャスタ)創設に向け、勉強会を立ち上げ(10/26にプレ会議開催)→24年4月創設を目途
- ・スキー、ロングトレイルに続き、モータースポーツ、ゴルフ、市民マラソンなどの個別ジャンルの連携組織づくりも促進
- ・スポーツ+観光といった行政組織のあり方も国と地方で検討

(参考)さいたまスポーツコミッションの設置目的と役割

設置の目的

観光・交流分野の戦略施策として、本市の特徴のひとつである「スポーツの盛んなまち」としての特性を活かし、国内でまだ本格的な事例のない組織を他に先駆けて創設することで、スポーツを通じた新たな観光客の拡大を図り、さいたま市の地域経済を活性化させます。



スポーツ大会誘致のプロモーター
 中央競技団体とのパイプ役
 市・県スポーツ競技団体との連携体制
 会場確保、関係機関との折衝・事務手続き代行

ミッション(使命)
さいたま市における新たなスポーツ観光市場の創造

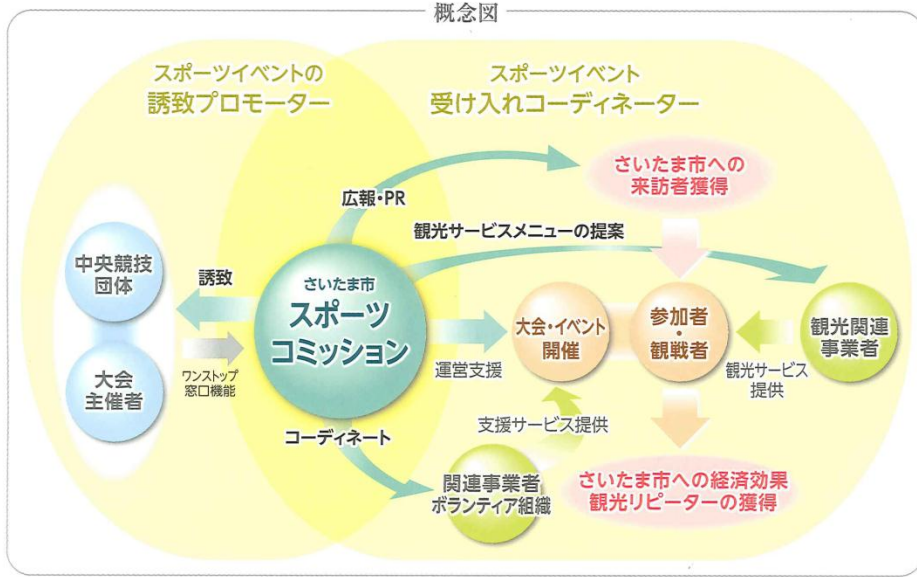
役割

「スポーツ観光」振興の推進中核組織

- ・スポーツイベントの誘致プロモーター
- ・スポーツイベント受け入れコーディネーター



スポーツ大会の受入コーディネーター
 ボランティア組織のマネジメント
 大会関連需要と市内事業者とのマッチングサービス
 大会参加者・関係者・観戦者のプレ・アフター観光プロモート



戦略方針

- ① 特定競技やカテゴリー(種別)の聖地(メッカ)づくり**
 サッカーを軸に、特定競技やカテゴリー(性別・年代別など)の大会を戦略的に誘致・開催して「スポーツのまち」としての市のアイデンティティをより明確にし、都市のブランド価値創出をはかります
- ② ターゲットを明確にした誘致活動**
 地域への経済波及効果の高いジュニアやシニアの大会などの誘致に積極的に取り組めます
- ③ 自然・都市環境を活かしたエコロジカルスポーツの振興**
 施設を使用するスポーツイベントだけでなく、市内の自然や都市環境を活かしたスポーツイベントの開催・定着をめざします



エコロジカルスポーツとは
 スタジアムや体育館等のスポーツ施設を使わず、豊かな自然環境や市街地道路などを活用して行われる、自然・環境共生型のスポーツ。身体活動の促進
 (99都市型マラソン、ウォーキングイベント、サイクリングイベント等)

機能

- ① 企画調整機能**
 事業の企画立案・統括・マネジメント
- ② 大会誘致機能**
 スポーツ団体等との誘致折衝や資金確保などの開催準備支援
- ③ 大会運営支援機能**
 大会開催に必要な各種業務のワンストップ窓口
- ④ 広報・PR機能**
 さいたま市スポーツコミッションの宣伝・告知、大会(イベント)開催のPR・集客プロモーション
- ⑤ 観光連携機能**
 大会参加者・観戦者への観光行動促進プロモーション
- ⑥ 地域スポーツの振興機能**
 「スポーツのまち」としてのポテンシャル向上活動



(参考)さいたまスポーツコミッションの機能

さいたま市内のスポーツ施設に関する情報提供や、通常では困難な予約について、ご相談やお申し込みのお手伝いをします。

We provide information on sports facilities and assist you in making reservations which would otherwise be difficult to make.

さいたま市内で開催されるスポーツイベント等を対象とし、開催規模等に応じて予算の範囲内で助成します。

We provide subsidies for sports events held in Saitama City according to the scale of the event and our budget.

ボランティア組織の協力のもと運営に関する人的支援を行います。

We provide personnel to assist with the running of the event, through volunteer organizations.



さいたまスポーツコミッションのサポート

Support of the Saitama Sport Commission

スポーツイベント等の開催に必要な許認可手続きなどの調整を行います。

We will assist with procedures for obtaining permits or licenses needed for sports and other events.



<http://saitamasc.jp>
詳しくはホームページでご案内しています
For details, please visit our website at <http://saitamasc.jp>



宿泊施設をはじめ、飲食店その他必要な専門業者などをご紹介いたします。

We introduce accommodation facilities, food and drink establishments and other necessary service providers.



観光スポットに関する情報提供と観光施設との調整を行います。

We provide information on tourist spots and make arrangements with sightseeing facilities.



スポーツ施設など会場情報の紹介や印刷物に利用する各種写真を提供します。

We introduce event venues such as sports facilities and furnish photographs for use in printed materials.



スポーツイベント等の開催に際しての広報活動を支援します。

We assist with PR for sports and other events.

スポーツイベント等の開催に関する各種相談に応じます。

We offer advice about holding sports and other events.

その他
Other support

スポーツイベント開催助成金制度

Subsidy Plans for Sports Events

さいたま市内で開催されるスポーツイベント等を対象とし、開催規模等に応じて予算の範囲内で助成します。

We provide subsidies for sports and other events held in Saitama City according to the scale of the event and our budget.

1 交付対象(主な条件)

Subsidy Eligibility (main conditions)

- (1) さいたま市内を主たる会場とするもの
(1) The main venue for the event is in Saitama City.
- (2) さいたま市外からの相当数の参加(選手及び役員等も含む)があるもの又は多数の誘客が見込まれるもの
(2) The event is expected to attract a considerable number of participants and spectators from outside of Saitama City.
- (3) 政治的、宗教的な活動を目的としないもの
(3) The objective of the event is neither political nor religious.
- (4) 主催団体が国又は地方公共団体以外の団体であること
(4) The event is organized by an entity other than the national government or local public authority.
- (5) さいたまスポーツコミッション(さいたま観光コンベンションビューロー)が主催者及び参加者へのアンケート調査等を依頼した場合、協力できること
(5) The organizer and participants are willing to cooperate with interviews and surveys conducted by the Saitama Sport Commission (Saitama Convention & Visitors Bureau).

2 交付金額(限度額)

Amount of Subsidy (maximum amount)

参加者数 又は 観客数のいずれか Number of participants or Number of spectators		交付額 Subsidy (yen)
参加者数 Number of participants	観客数 Number of spectators	
100人以上200人未満 100-199 people	300人以上1,000人未満 300-999 people	10万円以内 max. 100,000
200人以上400人未満 200-399 people	1,000人以上2,000人未満 1000-1999 people	30万円以内 max. 300,000
400人以上600人未満 400-599 people	2,000人以上3,000人未満 2000-2999 people	50万円以内 max. 500,000
600人以上1,000人未満 600-999 people	3,000人以上10,000人未満 3000-9999 people	80万円以内 max. 800,000
1,000人以上 1000 or more people	10,000人以上 10,000 or more people	100万円以内 max. 1,000,000

*補助対象となるには事前の審査が必要です。原則として開催前年度の6月までに申請書を提出してください。
*大会イベント終了後、参加人数又は観客数が規定に満たなかった場合は補助対象外となります。

*Eligibility for this subsidy is subject to a preliminary screening. As a rule, applications must be submitted by the end of June of the fiscal year preceding the event year.
*The event will be ineligible for the subsidy if at the end it has not met the requirement for number of participants and, or spectators.

スポーツツーリズム推進連携組織(JSTA)のイメージ

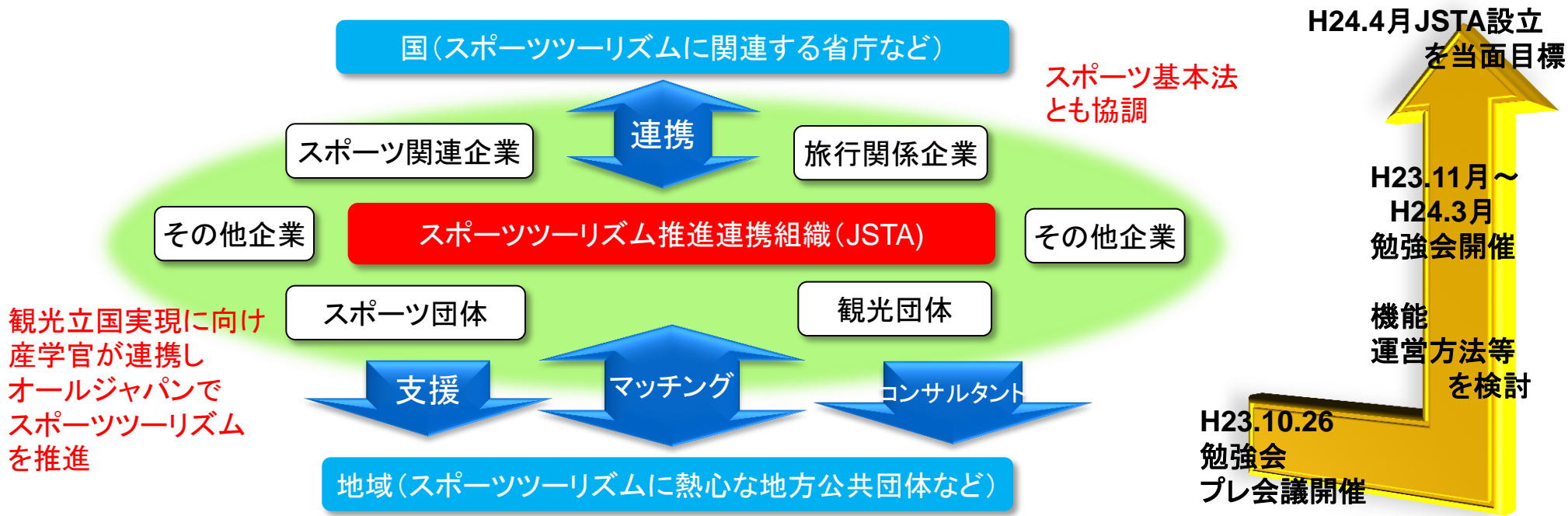
- スポーツとツーリズムの融合でインバウンド・国内観光の振興による国内活性化
- 更なる融合による交流人口の拡大、新たなビジネス・産業構造の創出

◇スポーツ観光まちづくりとコンテンツ開発

- ・やる気のある地方公共団体の取りまとめと中央との橋渡し
- ・地方公共団体向け先行事例の情報収集・発信・教育
- ・まちづくりと連動したスポーツのメッカづくりの支援
- ・プロリーグチーム保有都市との連携やアイデア提供

◇国際競技大会、スポーツ大会・合宿の積極的な招致開催

- ・オリンピックなどの国際競技大会の招致開催支援
- ・地域とスポーツ団体とスポンサーの3者のマッチングによる招致開催支援
- ・アウトドアスポーツの世界大会開催と国際競技団体づくり
- ・イベントのモニタリングと経済効果の測定と集約



観光立国実現に向け
産学官が連携し
オールジャパンで
スポーツツーリズム
を推進

◇旅行商品化と情報発信の推進

- ・CSTAやNASCなど他国のスポーツツーリズム推進連携組織との交流による海外先進事例の収集と情報提供。
- ・地域と旅行会社とスポーツ団体のマッチングによる旅行商品化支援

◇スポーツツーリズム人材の育成・活用

- ・人材ネットワークの確立と人材養成プログラムによる研修等の実施
- ・スポーツツーリズムの人材認定・表彰制度の構築
- ・スポーツツーリズムの一般者への普及・啓蒙

スポーツを核とした観光地づくりのサイクル

地域を取り巻く厳しい環境

人口減少社会の到来

地域格差の拡大懸念



『地方の活力なくして国の活力なし』

スポーツ観光地づくり

<社会的側面>

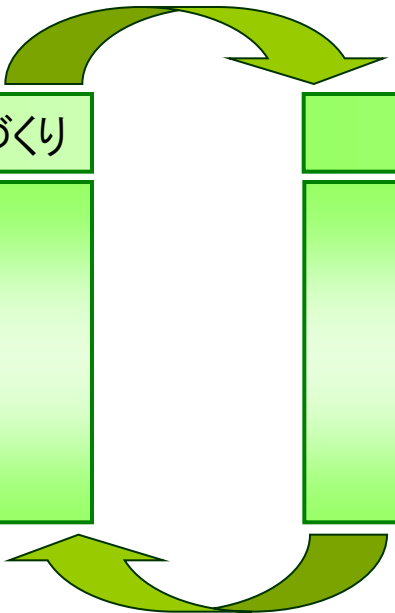
「住んでよし」=スポーツに親しめるまちづくり

地域コミュニティの活性化
↓
地域資源の保全・再生・価値向上
地域の自信・誇りの再生
<国の光を観せる>

<経済的側面>

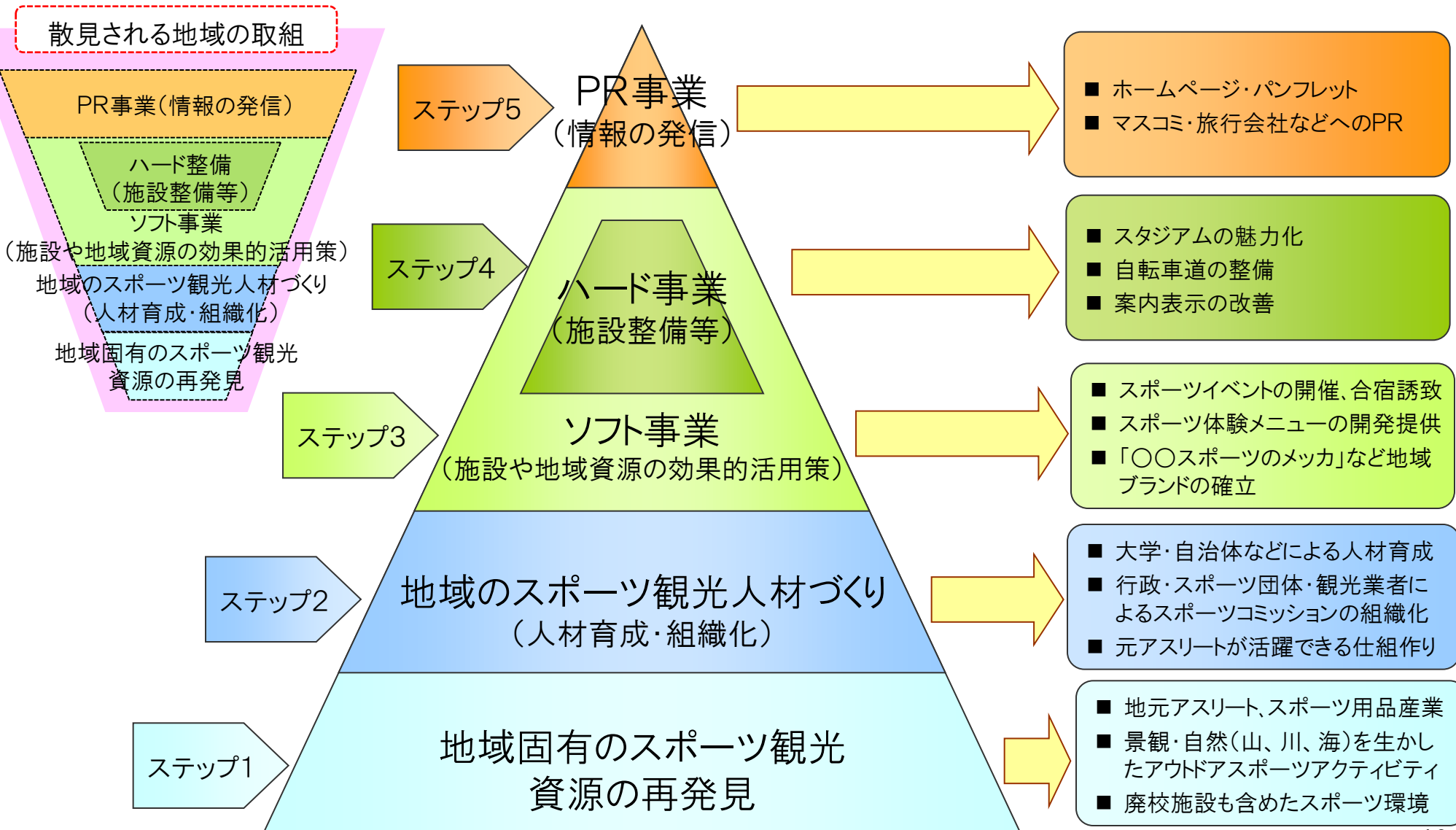
「訪れてよし」=スポーツ観光の振興

交流人口の拡大
↓
域内消費額の拡大
所得・雇用・税収の確保
<国の光を観る>



スポーツ観光地づくりににおける5つの要素

スポーツ観光地づくりににおける5つの要素



【参考】広域的な連携による滞在型観光の取組例

（従 来）

○大会参加の宿泊客の囲い込み

競技大会に参加する大会関係者・選手・家族を各宿泊施設内に囲い込んでしまうため、観光などの行動範囲が限定的。

○ばらばらなスポーツイベント

近隣の市町村でイベント情報が共有されていないため、ある市のイベントに参加した観光客は同時期に開催されている他の町のイベントの存在に気づかずに帰ってしまう。

○アクセス交通の不便

魅力あるイベントやご当地グルメなどの資源があるにも関わらず、これを結ぶ交通手段が整備されていないため、選手や参加者が周辺地域に誘導されない。

○市町村ごとの観光マップ

市町村毎に観光マップが作成されているため、隣接した市町村(他県を含む)の情報を得ることができず、観光客のニーズと乖離。

広域的な連携

（滞在型観光の参考事例）※スポーツに限らず

○圏域内転泊2泊目半額プラン(会津・米沢地域観光圏)

- ・圏域内の7市町、9温泉地の対象宿泊施設でそれぞれ1泊づつ2泊すると、2泊目が半額になる宿泊プランを企画・販売。
- ・圏域内での転泊を促進することにより、観光客の滞在時間の延長、周遊を図る。



○共通コンセプトに基づいた圏域内イベントの連携(雪国観光圏)

- ・圏域内全17カ所で開かれる雪まつりが連携し、3県7市町村、延べ26日間にわたって当観光圏のコンセプトである「雪国の自然と文化」を発信。
- ・併せて、スノースポーツなどのイベントマップやエリア内共通パンフレットを発行することで、観光客の周遊・滞在を促進。



○市町村域を超えた産業観光シャトルバスの試験運行(富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏)

- ・滞在促進地区の「魚津駅前地区」「宇奈月温泉地区」とYKKセンターパークなどの圏域内の産業観光施設等をつなぐシャトルバスを運行し、観光客の周遊を促進。



○観光客のニーズに合わせた圏域マップの作成(にし阿波観光圏)

- ・うだつの町並み(脇町)や祖谷溪(三好市)等の観光客が必ず巡るスポットを網羅した圏域マップをテーマ毎(基本、アウトドア体験、地元オススメ情報)に作成。
- ・22年度は4カ国語で作成し、外国人観光客の誘致を図る予定。



その他、スポーツ観光地づくりのポイント

10のポイント

- ①首長のやる気&明確なビジョン(住民の支持も)
- ②役所横断的な組織体制(警察も)
- ③スポーツ種目・イベント規模などのマーケティング戦略
- ④施設管理の柔軟化、公園・景観規制の緩和
- ⑤地域ぐるみでのプロチーム育成へのチャレンジ
- ⑥留学生など外国人目線の受入体制整備
- ⑦広域的な宿泊・滞在・体験・循環の仕掛けづくり
- ⑧ご当地食や温泉、パワースポなどとの着地型商品づくり
- ⑨観光案内所や宿泊先でのイベントや施設情報の提供
- ⑩幼少期からのスポーツ体験、観光まちづくり教育

今こそスポーツと旅の教育機会の充実を

スポーツツーリズム基本方針(抜粋)

⑤ 幼少期からの多様なスポーツと旅の機会の充実

幼少期からの多様なスポーツや旅の経験は発達上有意義であるが、将来のスポーツツーリズム人材の裾野を拡げるためにも極めて重要である。このため、Jリーグ百年構想にもあるような「広場やスポーツ施設の拡充」「やりたいスポーツを学べるスポーツクラブの普及」「スポーツの世代間交流の拡大」などの環境整備が望まれる。さらに、その地域ならではのスポーツ(例えば、雪国ならスキーなど)の経験はできるだけ子どもたちが共有できるようにし、スポーツのメッカを唱えるまちでは、例えば、「ホッケーのまち」の福井県越前町や埼玉県飯能市ならホッケーに老若男女を問わず勤しむ光景が見られたり、市民マラソンの開催地なら児童生徒が応援を含め全員参加したり、といった環境づくりが望まれる。加えて、居住地域周辺ではできないスポーツを旅に伴い異なる文化・自然環境の下で経験し交流することによって、スポーツと旅行に前向きなマインドを持つ若者を育成することも可能となる。

(参考)小学校学習指導要領

「体育」 自然とのかかわりの深い雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動などの指導については、地域や学校の実態に応じて積極的に行うことに留意すること。

「特別活動」(遠足・集団宿泊的行事) 自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

(略)実施に当たっては、(略)自然体験や社会体験などの体験活動を充実する(略)

スポーツツーリズム相談窓口 <観光庁>

スポーツを核とした観光振興によるインバウンド拡大、地域活性化を目指す団体、地方公共団体の皆様・・・



国への情報提供も歓迎。何でもお気軽にご相談ください！

※「スポーツツーリズム相談窓口」は、観光庁スポーツ観光推進室が提供するワンストップサービスです。

情報提供や相談の内容に応じて、

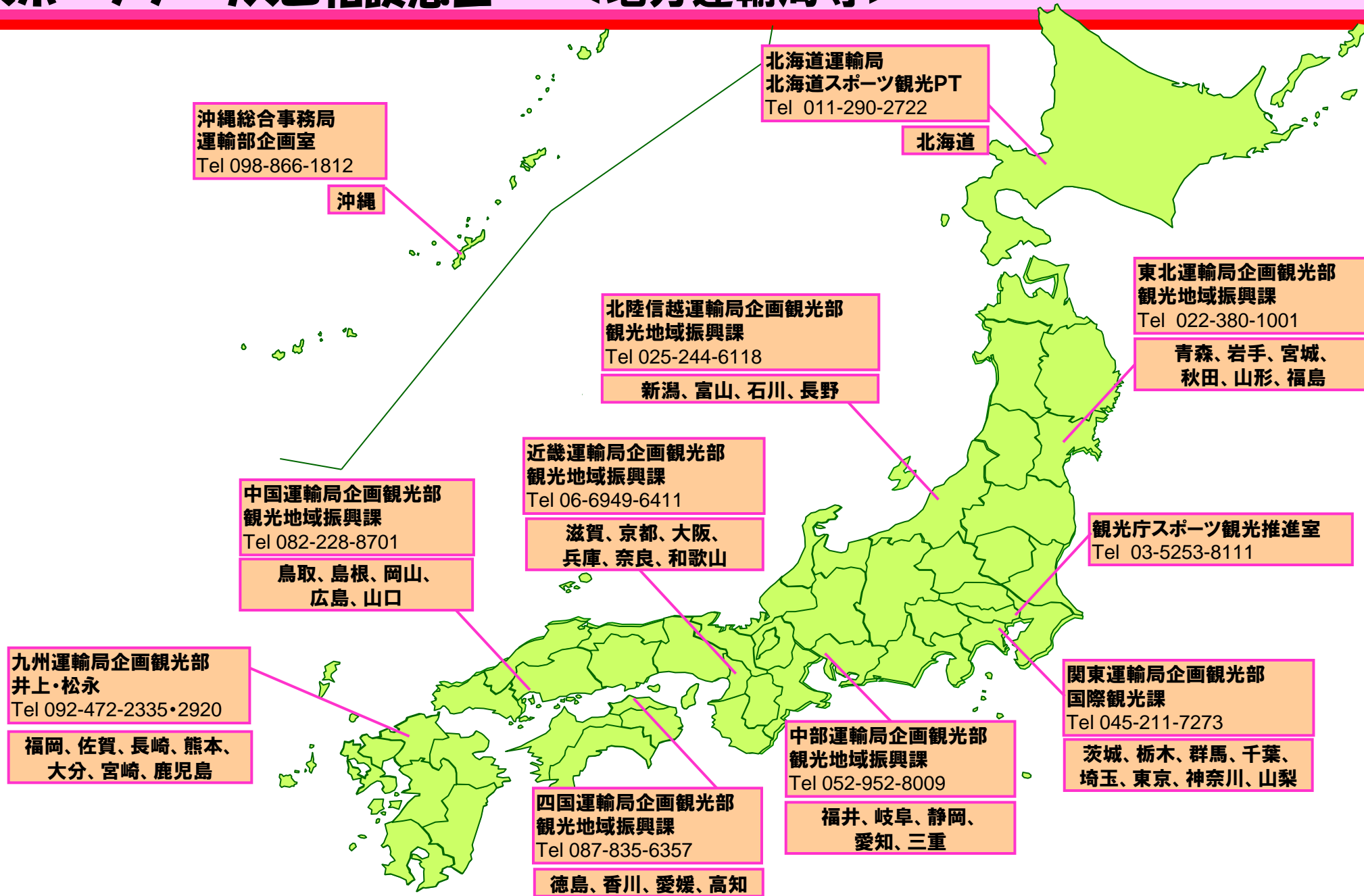
- ・先進事例によるアドバイス
 - ・スポーツツーリズム振興に資する関連支援メニューの紹介
(国土交通省・観光庁ほか、文部科学省、総務省、経産省、厚労省など)
 - ・日本政府観光局(JNTO)、関係団体(スポーツ団体等)や関係府省庁への橋渡し
- などが受けられるほか、状況に応じて適切なフォローを行います。

☆後援名義、長官賞・長官行事出席・挨拶など前向きに対応！
☆観光庁サイトへの情報掲載(リンク)も随時！

観光庁では、庁内横断的メンバーでスポーツツーリズム振興に取り組んでいます。情報提供・ご相談・お問い合わせについては、スポーツ観光推進室メンバーまでご連絡ください。

- | | | | |
|-------------|----|----|------------|
| スポーツ観光推進政策官 | 進藤 | 昭洋 | (内線27-803) |
| スポーツ観光推進政策官 | 大野 | 晋 | (内線27-115) |
| スポーツ観光推進政策官 | 山本 | 圭太 | (内線27-821) |
| スポーツ観光推進政策官 | 小林 | 弘典 | (内線27-708) |
| スポーツ観光推進政策官 | 秋本 | 幸佑 | (内線27-514) |

Tel : 03-5253-8111 (代表)



成美大学及び北近畿のみなさん

ご清聴ありがとうございました！

観光地創りは一人ひとりが担い手です。

スポーツツーリズムを起爆剤とすべく

一緒に頑張りましょう！！



Active Japan!!
Sports-tourism